

NDB データによる医科医療費の動向調査に基づく検討
—NDB データに基づく傷病量の信頼性と有用性—

研究協力者 橋本 修二 藤田医科大学名誉教授
研究代表者 川戸 美由紀 国立保健医療科学院疫学・統計研究部上席主任研究官
研究分担者 三重野牧子 自治医科大学情報センター医学情報学准教授

研究要旨 分担研究課題の「NDBデータの集計と利用の提言に関する検討」の研究の一環として、NDBデータによる医科医療費の動向調査に基づく傷病量の信頼性を評価するとともに、傷病量の有用性として、2018・2019・2024年の年次推移と月間変動、2020～2023年の異常変動（COVID-19の影響を含む）を検討した。基礎資料として医科医療費の動向調査から得た2018～2024年の月別、入院・外来、主傷病の傷病分類別診療実日数を、傷病量の指標として1日平均患者数を、傷病分類として傷病中分類を用いた。1日平均患者数について、観察値の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024年の1～12月を対象データする重回帰分析に基づいて、対象データの年月内の期待値と年月外の2020～2023年の予測値を算定するとともに、信頼性の評価のために、年月別の観察値と期待値の比が近似的に95%の確率で入ると期待される範囲（誤差比の95%範囲と呼ぶ）を推定した。入院・外来と傷病中分類別の1日平均患者数において、誤差比の95%範囲の上限は「呼吸器系の疾患」以外の傷病の50%以上で1.05未満、90%程度で1.10未満と小さかった。「呼吸器系の疾患」の多くの傷病のそれは1.10以上であったが、本来の誤差でなく、年と月以外の要因による変動が大きいと考えられた。一方、2018・2019・2024年において、傷病中分類別の1日平均患者数の年次推移と月間変動の検討結果から、「妊娠、分娩及び産じょく」の年次別の低下傾向、「呼吸器系の疾患」の多くの傷病での大きな月間変動（冬期に最大月と夏期に最小月）などがみられた。2020～2023年において、1日平均患者数の観察値と予測値との比較による異常変動の検討結果から、「呼吸器系の疾患」の外来では2020年3～5月までの低下の増大傾向とその後の縮小傾向などがみられた。以上より、入院・外来と主傷病の傷病中分類別の1日平均患者数は傷病量として信頼性と有用性が高いと示された。

A. 研究目的

分担研究課題の「NDBデータの集計と利用の提言に関する検討」の研究の一環として、NDBデータによる医科医療費の動向調査に基づく傷病量の信頼性と有用性を評価した。一般に、測定（指標）の信頼性とは、同じものを繰り返し測定したときの測定結果の近さの程度を指し、誤差変動の大きさで評価できる。傷病量の有用性としては、2018・2019・2024年の年次推移と月間変動、2020

～2023年の異常変動（COVID-19の影響を含む）を検討対象とした。

B. 研究方法

基礎資料として、医科医療費の動向調査から得た、2018～2024年の年月、入院・外来、主傷病の傷病分類別の診療実日数を用いた。医科医療費の動向調査はNDBの医科レセプト情報に基づいている（歯科レセプト情報を含まない）。全傷病とともに、傷病分類

として、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病分類および歯科系の傷病分類を除く、傷病章分類（全傷病を含む 20 傷病）と傷病中分類（全傷病を含まない 135 傷病）を用いた。

傷病量としては、年（月）の 1 日平均患者数（＝「年（月）の診療実日数の合計」／「年（月）の日数」）を用いた。2018～2024 年の年月、入院・外来、傷病分類別に 1 日平均患者数を医科医療費の動向調査データから計算した。この計算値は、後述する 1 日平均患者数の期待値、予測値と区別するとき、観察値と呼ぶ。

1 日平均患者数の期待値は、1 日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024 年の 1～12 月を対象データとする重回帰分析に基づく、対象データの年月内の 1 日平均患者数の推定値の対数を指数変換した値で求めた。1 日平均患者数の予測値は、対象データの年月外の 2020～2023 年で期待値と同様に計算した値とした。この解析では、1 日平均患者数に年と月による乗法モデルを前提とし、また、COVID-19 の影響による異常変動を含めないうために、対象データには 2020～2023 年のデータを含めなかった。

信頼性については、入院と外来、傷病分類ごとに、年月別 1 日平均患者数の観察値と期待値の比が近似的に 95% の確率で入ると期待される範囲（誤差比の 95% 範囲と呼ぶ）を推定・検討した。誤差比の 95% 範囲の下限と上限は、前述の重回帰分析による誤差分散の推定値の平方根とそれぞれ、 -1.96 と $+1.96$ との積を指数変換した値で求めた。また、全傷病について、対象データを 2018～2024 年の 7 年分、2018・2019 年の 2 年分および 2018・2019 年に 2020～2024 年の各 1 年を加えた 3 年分に変更して、同様の方法で誤差比の 95% 範囲を計算した。

有用性については、入院・外来、傷病分類ごとに、2018・2019・2024 年において、1

日平均患者数の年次推移と月間変動を検討した。月間変動をみるため、各月の 1 日平均患者数を、2018・2019・2024 年の当該月の 1 日平均患者数の平均値で求めた。2020～2023 年の異常変動について、入院・外来、傷病分類ごとに、年月別、1 日平均患者数の観察値と予測値の比で検討した。

（倫理面への配慮）

本研究では、既存の統計資料のみを用いるため、個人情報保護に関係する問題は生じない。

C. 研究結果

1. 信頼性の検討

表 1-1 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比について、全傷病の対象データ別を示す。誤差比の 95% 範囲の上限は、入院・外来とも、対象データが 2018～2024 年で最も大きく（入院で 1.07、外来で 1.11）、2018・2019・2024 年で最も小さかった（入院で 1.02、外来で 1.04）。

表 1-2 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比について、傷病章分類を示す。対象データは 2018・2019・2024 年である。誤差比の 95% 範囲の上限は、入院・外来とも 1.05 未満が多く、外来の「X 呼吸器系の疾患」（1.19）を除いて、1.10 未満であった。

表 1-3 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比の分布について、傷病中分類を示す。入院において、全体の 135 傷病では誤差比の 95% 範囲の上限が 1.05 未満で 57%、1.05～1.10 未満で 27%、1.10 以上で 16% であった。呼吸器系の疾患の 12 傷病ではそれぞれ 25%、8% と 67% であり、それ以外の傷病では 60%、29% と 11% であった。外来においては、全体では誤差比の 95% 範囲の上限が 1.05 未満で 46%、1.05～1.10 未満で 37% と 1.10 以上で 17%、呼吸器系の疾患ではそれぞれ 0%、8% と 92%、それ以外の傷病では 50%、40% と

10%であった。

表 1-4 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比について、傷病中分類で誤差比が大きい傷病を示す。入院または外来で誤差比の 95% 範囲が 1.10 以上の傷病としては、「X 呼吸器系の疾患」の 11 傷病が多く、「IX 循環器系の疾患」の 5 傷病、「VIII 耳及び乳様突起の疾患」の 4 傷病、「I 感染症及び寄生虫症」の 3 傷病、「VII 眼及び付属器の疾患」の 3 傷病などであった。

図 1-1～図 2-2 に、医科医療費の動向調査データに基づく 1 日平均患者数の観察値と期待値における 2018・2019・2024 年の年月推移について、入院・外来ごとの全傷病と「X 呼吸器系の疾患」（表 1-2 の誤差比の 95% 範囲の上限が最も大きい傷病章分類）を示す。なお、図中の 2020～2023 年の予測値に関する結果は後述の異常変動の節に記述する。図 1-1 と図 1-2 の全傷病の入院と外来をみると、いずれも、1 日平均患者数の観察値は 2018・2019・2024 年で期待値とよく一致していた。図 2-1 と図 2-2 の「X 呼吸器系の疾患」の入院と外来をみると、1 日平均患者数の観察値は、2018・2019・2024 年で、期待値と比較的一致していた。

2. 有用性の検討

(1) 年次推移

表 2-1 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年次推移について、傷病章分類の 2018～2024 年を示す。1 日平均患者数の 2024 年/2018 年の比をみると、入院では全傷病で 0.96 であり、「VIII 耳及び乳様突起の疾患」で 0.79、「XV 妊娠、分娩及び産じょく」で 0.78、それ以外の傷病章分類で 0.80～1.20 未満であった。外来では全傷病で 0.99 であり、「XV 妊娠、分娩及び産じょく」で 0.78、それ以外の傷病章分類で 0.80～1.20 未満であった。一方、1 日平均患者数の 2020 年/2019 年の比をみると、入院では全傷病で 0.96 であり、いずれの傷病章

分類とも 0.80～1.20 未満であった。外来では全傷病で 0.90 であり、「X 呼吸器系の疾患」で 0.66、それ以外の傷病章分類で 0.80～1.20 未満であった。

表 2-2 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年次比の分布について、傷病中分類の 2018 年と 2024 年を示す。全体の 135 傷病において、入院では 1 日平均患者数の 2024 年/2018 年の比が 0.8 未満で 20%、0.8～1.2 未満で 74%、1.2 以上で 6%であった。この比が 0.8 未満の割合は「VIII 耳及び乳様突起の疾患」で 63%、「X 呼吸器系の疾患」で 58%、「XV 妊娠、分娩及び産じょく」で 80%、それ以外の傷病で 10%であった。外来では 1 日平均患者数の 2024 年/2018 年の比が 0.8 未満で 11%、0.8～1.2 未満で 84%、1.2 以上で 4%であった。この比が 0.8 未満の割合は 3 つの傷病章分類で大きく、それ以外の傷病で 6%であった。

表 2-3 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年次比について、傷病中分類で 2024 年/2018 年の比が小さいまたは大きい傷病を示す。入院または外来で 1 日平均患者数の 2024 年/2018 年の比が 0.8 未満の傷病としては、「X 呼吸器系の疾患」の 9 傷病が多く、「VIII 耳及び乳様突起の疾患」の 5 傷病、「I 感染症及び寄生虫症」の 4 傷病、「XV 妊娠、分娩及び産じょく」の 4 傷病などであった。入院または外来で 1 日平均患者数の 2024 年/2018 年の比が 1.2 以上の傷病としては、「I 感染症及び寄生虫症」の 3 傷病、「XIV 腎尿路生殖器系の疾患」の 3 傷病などであった。

(2) 月間変動

表 3-1 に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間変動について、入院の傷病章分類を示す。対象データは 2018・2019・2024 年である。1 日平均患者数の最大月/最小月の比は、全傷病で 1.0 であり、いずれの傷病章分類とも 1.5 未満であった。

表 3-2 に、医科医療費の動向調査データに

基づく傷病量の月間変動について、外来の傷病章分類を示す。対象データは2018・2019・2024年である。1日平均患者数の最大月/最小月の比は、全傷病で1.1であり、「X 呼吸器系の疾患」で1.8（2月が最大月、8月が最小月）、それ以外の傷病章分類で1.5未満であった。

表3-3に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間比の分布について、傷病中分類を示す。全体の135傷病において、入院では1日平均患者数の最大月/最小月の比が1.5未満で98%、1.5～3.0未満で2%、3.0以上で0%であった。外来ではこの比が1.5未満で87%、1.5～3.0未満で10%、3.0以上で2%であった。この比が1.5以上の割合は「I 感染症及び寄生虫症」で30%、「X 呼吸器系の疾患」で75%、「X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」で33%、それ以外の傷病で3%であった。

表3-4に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間変動について、傷病中分類で月間比が大きい傷病を示す。1日平均患者数の最大月/最小月の比が1.5以上の傷病としては、入院では、「X 呼吸器系の疾患」の2傷病と「X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」の1傷病であった。外来では、「X 呼吸器系の疾患」の9傷病が多く、その中で、最大月が1・2・12月で6傷病と3月で2傷病であり、最小月が8月で8傷病であった。

（3）異常変動

表4-1に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の異常変動として、1日平均患者数の観察値と予測値の比が2020～2023年で最も低い月とその比について、入院の傷病章分類を示す。最も低い月の比は全傷病で0.87であり、「VII 眼及び付属器の疾患」で0.65、「VIII 耳及び乳様突起の疾患」で0.71、「X 呼吸器系の疾患」で0.71、それ以外の傷病章分類で0.81～0.92であった。最も低い月が2022年8月は全傷病などの

13分類、2020年5月は2分類、2022年12月は2分類であった。

表4-2に、医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の異常変動として、1日平均患者数の観察値と予測値の比が2020～2023年で最も低い月とその比について、外来の傷病章分類を示す。最も低い月の比は全傷病で0.77であり、「X 呼吸器系の疾患」で0.42、「VIII 耳及び乳様突起の疾患」で0.68、それ以外の傷病章分類で0.70～0.92であった。最も低い月が2020年5月は全傷病などの15分類、2020年4月は4分類であった。

図1-1～図2-2に、医科医療費の動向調査データに基づく1日平均患者数の観察値と予測値における2020～2023年の年月推移について、入院・外来ごとの全傷病と「X 呼吸器系の疾患」（表4-2の1日平均患者数の観察値と予測値の比が最も大きい傷病章分類）を示す。

図1-1の全傷病の入院では、1日平均患者数の観察値は2020年4月～2023年2月で予測値より低く（両者の比が0.95未満の月あり）、2020年の5月、2022年の8月と12月で低下が大きかった。図1-2の全傷病の外来では、1日平均患者数の観察値は2020年3月～2023年2月で予測値より低く（両者の比が0.95未満の月あり）、その低下は2020年の5月で大きく、その後に変動しつつ縮小傾向であった。図2-1の「X 呼吸器系の疾患」の入院では、1日平均患者数の観察値は2020年3月～2023年5月で予測値より低く（両者の比がすべて0.95未満）、その低下は2020年5月まで増大し、2023年2月まで比較的一定傾向で、その後に変動しつつ縮小傾向であった。図2-2の「X 呼吸器系の疾患」の外来では、1日平均患者数の観察値は2020年3月～2023年で予測値より低く（両者の比がすべて0.95未満）、その低下は2020年5月まで増大し、その後に変動しつつ縮小傾向であった。

D. 考察

NDB データによる医科医療費の動向調査に基づく傷病量の指標として 1 日平均患者数を、傷病分類として主傷病の傷病中分類を検討対象とした。1 日平均患者数は傷病量の指標として、病院報告やレセプトの分析などで広く用いられている。傷病中分類は患者調査やレセプトの分析などで標準的に用いられている。主傷病の選択として、医科医療費の動向調査では、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」を対象外とした上で、レセプトに記載された主傷病を優先しつつ、診療開始日のより古い傷病を選択している。本研究報告書の他の報告と比べると、1 日平均患者数と傷病中分類の利用は基本的に同様であり、主傷病の選択方法は「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」の対象外を除くと同様である。したがって、NDB データに基づく主傷病別の傷病量について、本検討結果はおおむね、本研究報告書の他の報告と同様である。

本検討では、1 日平均患者数の信頼性と有用性を検討対象とした。信頼性の高さは指標が有すべき基本的要件の 1 つである。かりに誤差変動が大きいと、不安定さのために指標値の解釈が難しくなり、その利用性は低い。これは、統計調査で精度の高さが求められることに対応する。ここでは、1 日平均患者数について、年と月による乗法モデルを前提とし、2018・2019・2024 年の 1～12 月のデータから重回帰分析を用いて、誤差変動の大きさを推定し、誤差比の 95% 範囲を求めた。この誤差変動には、本来の誤差によるもの以外に、年と月以外の様々な要因による変動が含まれる。かりに、この誤差比の 95% 範囲がある程度狭ければ、本来の誤差による変動が小さく、すなわち、信頼性が高いといえる。また、本来の誤差でない他の要因による変動が大きいと想定される場合、誤差比の 95% 範囲がそれに対応する程度の広さであれば、本来の誤差による変動が小さく、信頼性が高いといえる。

いま、誤差比の 95% 範囲の上限において、信頼性が高いと判定する基準値として 1.10 未満と仮定する。一般に、患者調査や国民生活基礎調査などの統計調査の標本設計では、精度の基準値として標準誤差率 5% 未満が用いられる。これは、観察値と真値の比の近似的な 95% 信頼区間が 0.90～1.10 程度またはそれより狭いことを指し、誤差比の 95% 範囲の上限の 1.10 未満に相当する。

誤差比の 95% 範囲の上限については、入院と外来ともに、全傷病をはじめ、多くの傷病章分類で 1.05 未満であり、また、「X 呼吸器系の疾患」以外のすべての傷病章分類で 1.10 未満であった。また、傷病中分類において、「X 呼吸器系の疾患」以外の傷病の 50% 以上で 1.05 未満、90% 程度で 1.10 未満であった。一般に、傷病の 1 日平均患者数では、年と月以外の要因による変動が小さいと想定され、とくに、急性上気道炎（感冒、急性扁桃炎など）やアレルギー性鼻炎などの「X 呼吸器系の疾患」の多くの傷病では大きいと考えられる。したがって、傷病中分類別の平均 1 日患者数が高い信頼性を有するといえる。

傷病量の有用性として、傷病中分類別の 1 日平均患者数の年次推移、月間変動と異常変動を検討した。その検討結果から、2018・2019・2024 年の 1 日平均患者数について、「X V 妊娠、分娩及び産じょく」で毎年次の低下傾向などが、また、「X 呼吸器系の疾患」の多くの傷病で大きな月間変動（冬期の最大月と夏期の最小月）などがみられた。2020～2023 年の異常変動として、1 日平均患者数の観察値が予測値と比べて、「X 呼吸器系の疾患」の外来では 2020 年 3～5 月までの低下の増大傾向とその後の縮小傾向などがみられた。このような検討の内容と結果については、受療動向の把握として重要性が大きいと思われ、一方、患者調査から十分に得られるものでないことから、傷病中分類別の 1 日平均患者数が傷病量として高い有用性を有するといえる。

E. 結論

入院・外来と傷病中分類別の1日平均患者数において、誤差比の95%範囲の上限は「呼吸器系の疾患」以外の傷病の50%以上で1.05未満、90%程度で1.10未満と小さかった。「呼吸器系の疾患」の多くの傷病のそれは1.10以上であったが、本来の誤差でなく、年と月以外の要因による変動が大きいと考えられた。一方、2018・2019・2024年において、傷病中分類別の1日平均患者数の年次推移と月間変動の検討結果から、「妊娠、分娩及び産じょく」の年次別の低下傾向、「呼吸器系の疾患」の多くの傷病での大きな月間変動（冬期に最大月と夏期に最小月）などがみられた。2020～2023年において、1日平均患者数の観察値と予測値との比較による異常変動の検討結果から、「呼吸器系の疾患」の外来では2020年3～5月までの低下の増大傾向とその後の縮小傾向などがみられた。以上より、入院・外来と主傷病の傷病中分類別の1日平均患者数は傷病量として信頼性と有用性が高いと示された。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし。
2. 学会発表
なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

図 1-1. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年月推移
：全傷病、入院、2018～2024 年

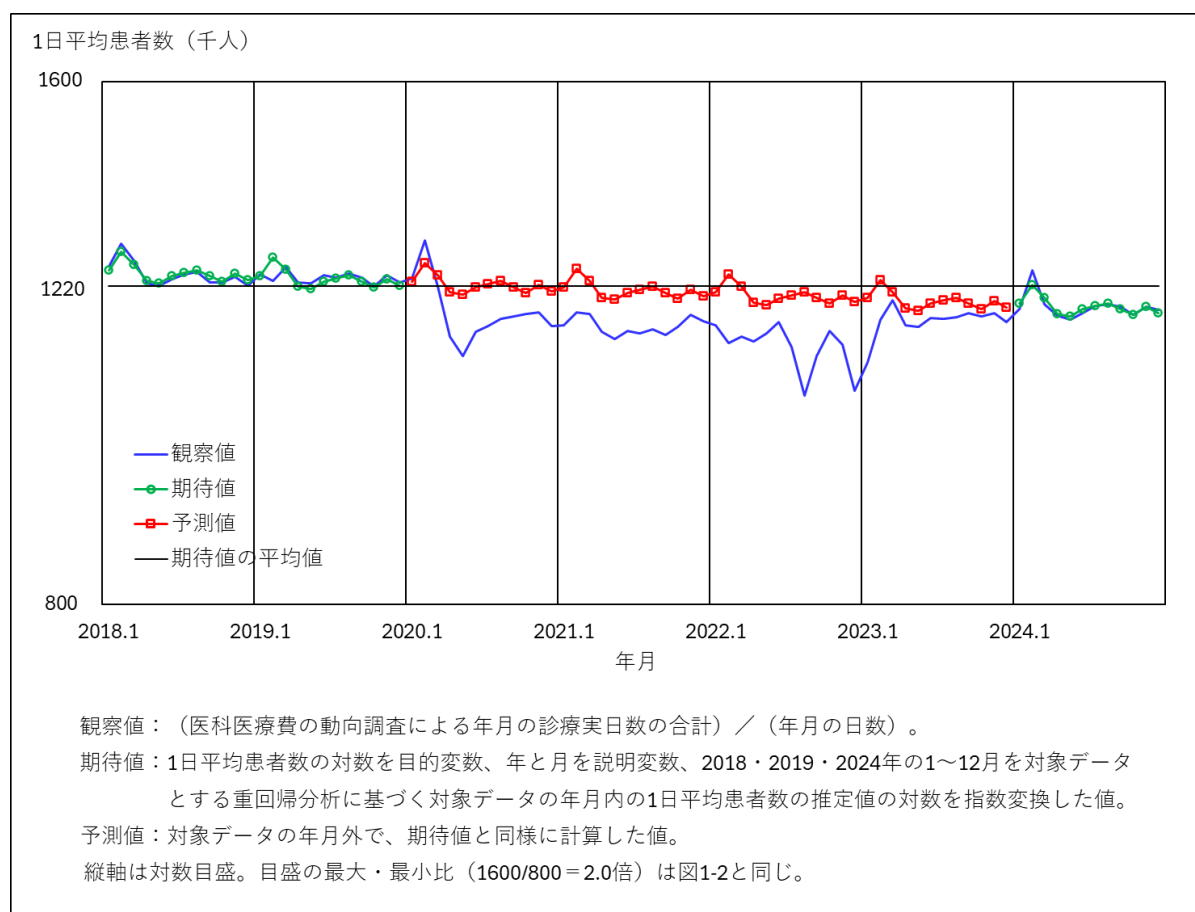


図 1-2. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年月推移
：全傷病、外来、2018～2024 年

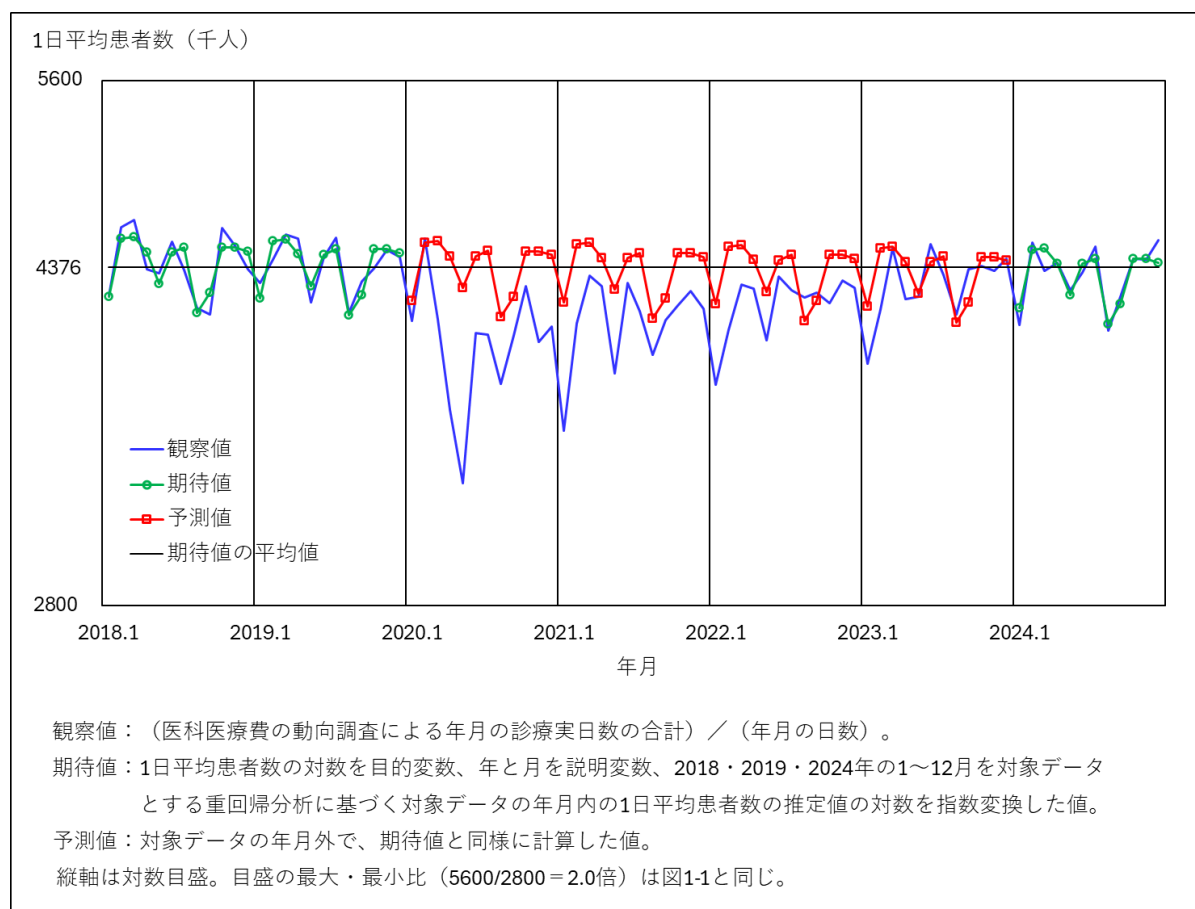


図 2-1. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年月推移
：「X 呼吸器系の疾患」、入院、2018～2024 年

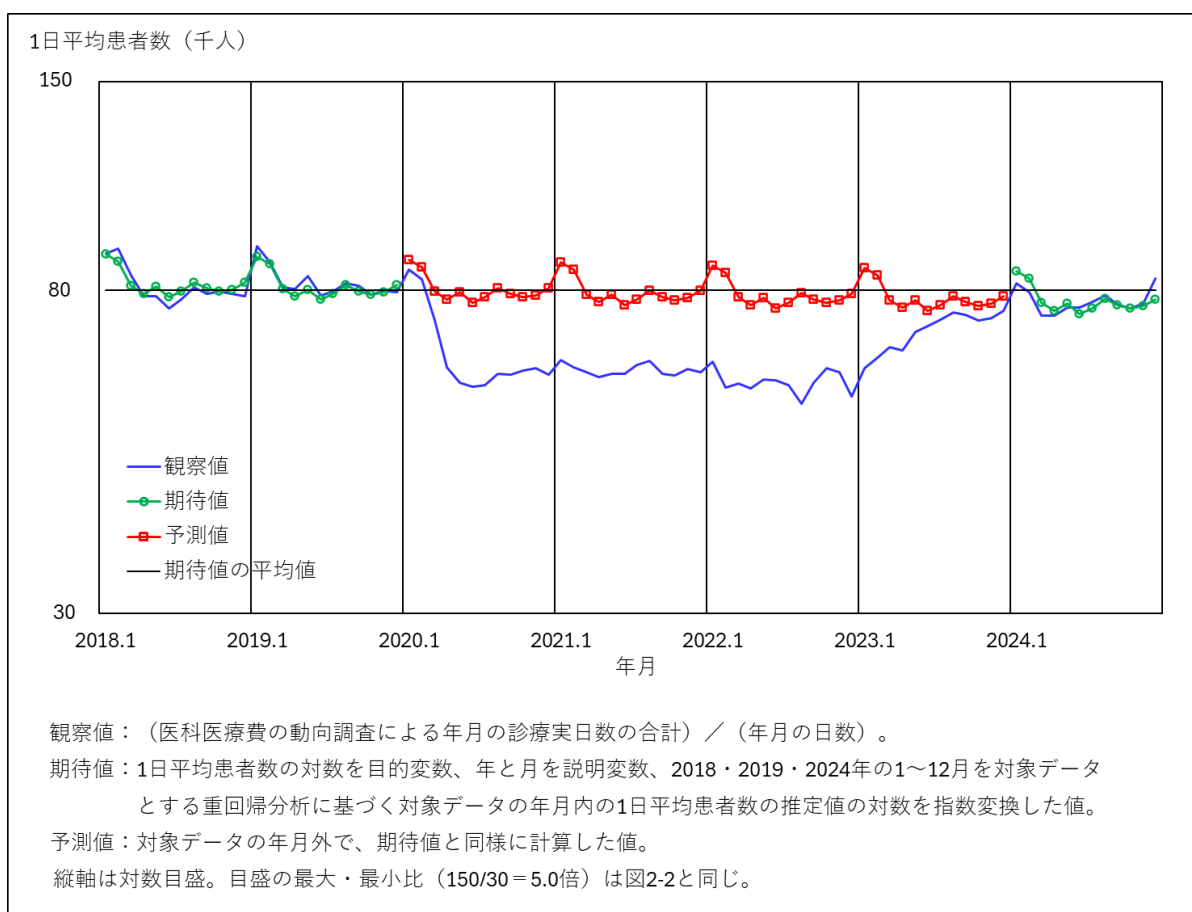


図 2-2. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年月推移
：「X 呼吸器系の疾患」、外来、2018～2024 年

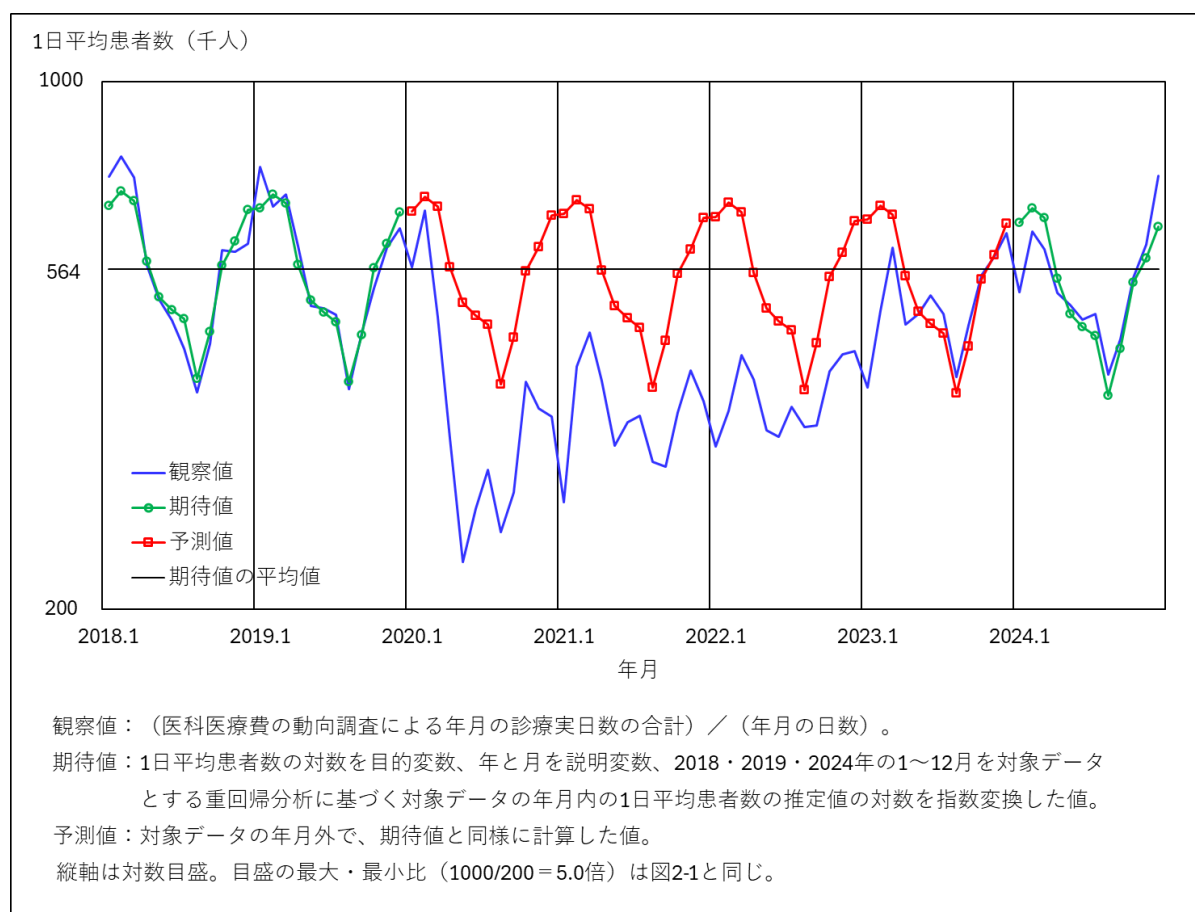


表 1-1. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比：全傷病、対象データ別

対象データの年次							入院	外来
2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	誤差比の95%範囲	誤差比の95%範囲
○	○	○	○	○	○	○	0.937 ～ 1.067	0.898 ～ 1.114
○	○	-	-	-	-	-	0.979 ～ 1.021	0.954 ～ 1.049
○	○	○	-	-	-	-	0.956 ～ 1.046	0.901 ～ 1.110
○	○	-	○	-	-	-	0.973 ～ 1.027	0.939 ～ 1.065
○	○	-	-	○	-	-	0.957 ～ 1.045	0.943 ～ 1.060
○	○	-	-	-	○	-	0.971 ～ 1.029	0.947 ～ 1.056
○	○	-	-	-	-	○	0.981 ～ 1.019	0.958 ～ 1.043

誤差比の95%範囲：年月別1日平均患者数の観察値と期待値の比が近似的に95%の確率で入ると期待される範囲。

1日平均患者数の観察値：(医科医療費の動向調査による年月の診療実日数の合計)／(年月の日数)。

1日平均患者数の期待値：1日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数とする重回帰分析による
1日平均患者数の対数の期待値を指数変換した値。

○：重回帰分析の対象データに該当年次を含む。 -：重回帰分析の対象データに該当年次を含まない。

表 1-2. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比：傷病章分類

傷病分類	入院	外来
	誤差比の95%範囲	誤差比の95%範囲
全傷病	0.981 ～ 1.019	0.958 ～ 1.043
I 感染症及び寄生虫症	0.963 ～ 1.038	0.941 ～ 1.062
II 新生物＜腫瘍＞	0.976 ～ 1.024	0.962 ～ 1.040
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.960 ～ 1.041	0.954 ～ 1.048
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0.961 ～ 1.040	0.964 ～ 1.037
V 精神及び行動の障害	0.981 ～ 1.019	0.969 ～ 1.032
VI 神経系の疾患	0.965 ～ 1.036	0.965 ～ 1.036
VII 眼及び付属器の疾患	0.946 ～ 1.057	0.950 ～ 1.053
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.951 ～ 1.052	0.950 ～ 1.052
IX 循環器系の疾患	0.977 ～ 1.023	0.967 ～ 1.034
X 呼吸器系の疾患	0.941 ～ 1.062	0.842 ～ 1.188
X I 消化器系の疾患	0.979 ～ 1.021	0.956 ～ 1.046
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	0.967 ～ 1.034	0.953 ～ 1.050
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	0.977 ～ 1.023	0.954 ～ 1.048
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	0.972 ～ 1.029	0.968 ～ 1.033
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.974 ～ 1.026	0.965 ～ 1.036
X VI 周産期に発生した病態	0.946 ～ 1.058	0.922 ～ 1.084
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.966 ～ 1.036	0.960 ～ 1.041
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見など	0.967 ～ 1.034	0.960 ～ 1.042
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	0.972 ～ 1.029	0.958 ～ 1.043

誤差比の95%範囲：年月別1日平均患者数の観察値と期待値の比が近似的に95%の確率で入ると期待される範囲。

1日平均患者数の観察値：（医科医療費の動向調査による年月の診療実日数の合計）／（年月の日数）。

1日平均患者数の期待値：1日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024年の1～12月を対象データとする重回帰分析に基づく、対象データの年月内の1日平均患者数の推定値の対数を指数変換した値。

表 1-3. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比の分布：傷病中分類

誤差比の95%範囲 の上限		傷病数（％）		
		全体	X 呼吸器系の疾患	それ以外 の傷病
入院	1.00～1.05未満	77 (57.0)	3 (25.0)	74 (60.2)
	1.05～1.10未満	36 (26.7)	1 (8.3)	35 (28.5)
	1.10以上	22 (16.3)	8 (66.7)	14 (11.4)
	計	135 (100.0)	12 (100.0)	123 (100.0)
外来	1.00～1.05未満	62 (45.9)	0 (0.0)	62 (50.4)
	1.05～1.10未満	50 (37.0)	1 (8.3)	49 (39.8)
	1.10以上	23 (17.0)	11 (91.7)	12 (9.8)
	計	135 (100.0)	12 (100.0)	123 (100.0)

対象傷病：傷病中分類（全傷病を含まず）から「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、
「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病および歯科系の傷病を除く135傷病。

誤差比の95%範囲：年月別1日平均患者数の観察値と期待値の比が近似的に95%の確率で入ると期待される範囲。

1日平均患者数の観察値：（医科医療費の動向調査による年月の診療実日数の合計）／（年月の日数）。

1日平均患者数の期待値：1日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024年の1～12月を
対象データとする重回帰分析に基づく、対象データの年月内の1日平均患者数の推定値
の対数を指数変換した値。

表 1-4. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の誤差比
：傷病中分類で誤差比が大きい傷病

傷病名	誤差比の95%範囲 の上限	
	入院	外来
I 腸管感染症	1.12	1.15
主として性的伝播様式をとる感染症	1.11	1.04
その他のウイルス性疾患	1.08	1.47
VII 結膜炎	1.13	1.15
白内障	1.18	1.05
屈折及び調節の障害	1.21	1.05
VIII 外耳炎	1.24	1.07
その他の外耳疾患	1.31	1.08
中耳炎	1.13	1.09
メニエール病	1.11	1.06
IX 虚血性心疾患	1.03	1.21
その他の心疾患	1.03	1.19
脳梗塞	1.03	1.12
脳動脈硬化(症)	1.25	1.25
その他の脳血管疾患	1.03	1.12
X 呼吸器系の疾患	1.06	1.19
急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1.15	1.16
急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1.15	1.14
その他の急性上気道感染症	1.13	1.16
肺炎	1.11	1.53
急性気管支炎及び急性細気管支炎	1.47	1.25
アレルギー性鼻炎	1.13	1.16
急性又は慢性と明示されない気管支炎	1.19	1.23
慢性閉塞性肺疾患	1.04	1.12
喘息	1.10	1.11
その他の呼吸器系の疾患	1.05	1.84
XI 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1.19	1.19
XIII 頸腕症候群	1.32	1.05
肩の傷害	1.11	1.05
XVI 月経障害及び閉経周辺期障害	1.16	1.05
XV 単胎自然分娩	1.09	1.17
XVI 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1.06	1.13
XIX 中毒	1.07	1.24

対象傷病：傷病中分類(全傷病を含まず)から「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、
「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病および歯科系の傷病を除く
135傷病の中で、誤差比の95%範囲の上限が1.1以上の傷病。

誤差比の95%範囲：年月別1日平均患者数の観察値と期待値の比が近似的に95%の確率で入ると期待される範囲。

1日平均患者数＝（年月の診療実日数の合計）／（年月の日数）。

1日平均患者数の期待値：1日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024年の1～12月を
対象データとする重回帰分析に基づく、対象データの年月内の1日平均患者数の推定値
の対数を指数変換した値。

 ：誤差比の95%範囲の上限が1.10以上

表 2-1. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年次推移：傷病章分類、2018～2024 年

傷病章分類	入院：1日平均患者数（千人）									外来：1日平均患者数（千人）								
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年/ 2018年 の比	2020年/ 2019年 の比	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年/ 2018年 の比	2020年/ 2019年 の比
全傷病	1,239.0	1,233.2	1,179.0	1,156.9	1,125.4	1,164.9	1,186.8	0.96	0.96	4,400.2	4,390.5	3,969.1	4,076.9	4,168.4	4,281.4	4,335.3	0.99	0.90
I 感染症及び寄生虫症	17.1	16.8	15.7	15.3	14.7	15.7	16.5	0.96	0.93	132.3	130.5	108.6	105.3	107.8	111.3	115.6	0.87	0.83
II 新生物＜腫瘍＞	126.0	125.5	118.3	112.4	107.1	109.9	112.7	0.89	0.94	157.1	160.4	153.4	161.6	164.1	166.3	169.7	1.08	0.96
III 血液及び造血系の疾患並びに 免疫機構の障害	6.8	6.7	6.4	6.2	6.0	6.3	6.5	0.96	0.95	18.5	18.5	16.7	17.5	17.3	17.5	17.6	0.95	0.90
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	41.6	40.9	38.9	37.3	36.4	38.4	39.3	0.94	0.95	370.1	371.8	358.9	371.5	373.1	374.0	370.1	1.00	0.97
V 精神及び行動の障害	245.6	240.9	235.8	228.9	219.3	220.9	218.3	0.89	0.98	217.0	219.9	216.3	224.9	226.0	229.7	234.4	1.08	0.98
VI 神経系の疾患	115.7	119.6	120.3	119.9	117.0	120.4	122.4	1.06	1.01	131.1	132.5	128.2	132.4	133.4	134.9	135.8	1.04	0.97
VII 眼及び付属器の疾患	9.2	9.4	8.2	7.7	7.7	8.0	8.1	0.88	0.87	289.8	289.3	266.6	274.7	276.5	281.6	283.6	0.98	0.92
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.6	2.5	2.2	2.0	1.8	1.9	2.0	0.79	0.87	70.9	70.1	59.4	61.5	59.9	62.6	63.3	0.89	0.85
IX 循環器系の疾患	218.1	215.9	208.6	204.7	198.6	201.0	202.9	0.93	0.97	712.1	701.5	667.4	675.1	671.0	665.3	664.9	0.93	0.95
X 呼吸器系の疾患	80.7	81.7	66.1	62.7	60.4	70.6	77.3	0.96	0.81	577.3	574.5	377.1	365.2	381.2	510.7	544.3	0.94	0.66
XI 消化器系の疾患	57.5	57.3	54.4	53.1	51.2	53.0	54.4	0.95	0.95	219.2	216.8	199.2	205.2	202.7	200.8	211.8	0.97	0.92
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	10.6	10.7	10.6	10.3	10.1	11.1	11.7	1.11	0.98	254.0	261.7	260.1	266.1	263.0	267.0	272.4	1.07	0.99
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	70.6	72.7	69.8	69.7	69.9	74.8	80.1	1.13	0.96	646.5	646.1	595.9	622.0	619.0	615.3	616.1	0.95	0.92
XVI 腎尿路生殖器系の疾患	47.6	48.7	48.1	47.2	45.5	47.3	49.2	1.03	0.99	229.3	234.6	232.4	240.3	245.4	246.7	252.8	1.10	0.99
XV 妊娠、分娩及び産じょく	13.9	13.3	12.4	12.1	11.4	11.1	10.8	0.78	0.93	10.7	10.3	9.7	9.7	9.1	8.6	8.3	0.78	0.94
XVI 周産期に発生した病態	7.0	6.8	6.7	6.6	6.4	6.7	6.7	0.96	0.99	3.1	3.1	2.7	2.9	2.8	2.9	2.9	0.92	0.89
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.2	5.2	4.9	5.0	4.8	5.1	5.2	1.01	0.94	10.2	10.4	9.7	10.5	10.6	10.7	10.9	1.08	0.93
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	14.9	14.8	13.9	14.0	13.7	14.4	14.9	1.00	0.94	67.0	68.3	61.9	70.3	76.4	75.7	76.7	1.14	0.91
XIX 損傷、中毒及びその他の外因 の影響	116.5	117.5	114.1	113.1	113.4	118.6	123.0	1.06	0.97	166.5	165.2	152.1	158.4	160.8	164.6	167.1	1.00	0.92
	：比が0.8未満																	
	：比が1.2以上																	

表 2-2. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年次比の分布：傷病中分類、2018 年と 2024 年

1日平均患者数の 2024年/2018年の比		傷病数 (%)				
		全体	Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	X 呼吸器系の疾患	X V 妊娠, 分娩及び産じょく	それ以外の傷病
入院	～0.8未満	27 (20.0)	5 (62.5)	7 (58.3)	4 (80.0)	11 (10.0)
	0.8～1.2未満	100 (74.1)	2 (25.0)	5 (41.7)	1 (20.0)	92 (83.6)
	1.2以上	8 (5.9)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (6.4)
	計	135 (100.0)	8 (100.0)	12 (100.0)	5 (100.0)	110 (100.0)
外来	～0.8未満	15 (11.1)	2 (25.0)	4 (33.3)	2 (40.0)	7 (6.4)
	0.8～1.2未満	114 (84.4)	6 (75.0)	8 (66.7)	3 (60.0)	97 (88.2)
	1.2以上	6 (4.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (5.5)
	計	135 (100.0)	8 (100.0)	12 (100.0)	5 (100.0)	110 (100.0)

対象傷病：傷病中分類（全傷病を含まず）から「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、
「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病および歯科系の傷病を除く135傷病。

表 2-3. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の年次比

: 傷病中分類で 2024 年/2018 年の比が小さいまたは大きい傷病

傷病名	1日平均患者数の 2024年/2018年の比	
	入院	外来
I 腸管感染症	0.807	0.718
結核	0.639	0.639
主として性的伝播様式をとる感染症	0.813	1.292
ウイルス性肝炎	0.567	0.641
その他のウイルス性疾患	1.291	1.379
感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0.728	0.586
その他の感染症及び寄生虫症	1.284	0.924
II 胃の悪性新生物<腫瘍>	0.705	0.827
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	0.685	0.994
IV その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1.228	1.031
V 知的障害<精神遅滞>	1.229	1.491
その他の精神及び行動の障害	1.013	1.307
VI 自律神経系の障害	0.812	0.718
VII 屈折及び調節の障害	0.752	0.978
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.788	0.892
外耳炎	1.334	1.035
中耳炎	0.698	0.677
その他の中耳及び乳様突起の疾患	0.650	0.744
メニエール病	0.637	0.967
その他の耳疾患	0.787	1.028
IX その他の心疾患	1.031	1.396
脳動脈硬化(症)	0.758	1.128
動脈硬化(症)	0.977	0.757
X 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	0.444	0.742
急性咽頭炎及び急性扁桃炎	0.690	0.876
その他の急性上気道感染症	0.718	0.952
急性気管支炎及び急性細気管支炎	0.590	0.987
慢性副鼻腔炎	1.026	0.768
急性又は慢性と明示されない気管支炎	0.637	0.594
慢性閉塞性肺疾患	0.792	1.047
喘息	0.700	0.997
その他の呼吸器系の疾患	1.134	0.738
XI 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	0.747	0.654
胃炎及び十二指腸炎	0.744	0.975
慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	0.577	0.944
XIII 頸腕症候群	0.517	0.814
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1.473	1.097
XVI 尿路結石症	1.257	1.008
その他の腎尿路系の疾患	1.398	1.097
月経障害及び閉経周辺期障害	0.989	1.660
XV 妊娠、分娩及び産じょく	0.778	0.776
流産	0.734	0.815
単胎自然分娩	0.706	0.817
その他の妊娠、分娩及び産じょく	0.770	0.768

対象傷病: 傷病中分類(全傷病を含まず)から「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、
「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病および歯科系の傷病を除く

135傷病の中で、1日平均患者数の2024年/2018年の比が0.8未満または1.2以上の傷病。

	: 1日平均患者数の2024年/2018年の比が0.8未満
	: 1日平均患者数の2024年/2018年の比が1.2以上

表 3-1. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間変動：入院、傷病章分類

傷病章分類	1日平均患者数（千人）												最大月/最小月の比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全傷病	1,224.9	1,254.8	1,234.7	1,207.9	1,204.2	1,215.3	1,220.6	1,225.3	1,215.6	1,206.6	1,219.7	1,209.2	1.04
I 感染症及び寄生虫症	16.7	16.8	16.5	16.3	16.6	16.9	17.4	17.7	17.3	16.8	16.5	16.2	1.10
II 新生物＜腫瘍＞	115.0	122.9	121.2	119.0	117.0	123.7	124.1	123.6	123.6	123.2	124.0	119.7	1.08
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.5	6.7	6.7	6.4	6.6	6.6	6.8	6.8	6.8	6.7	6.7	6.6	1.05
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	39.9	41.8	41.3	39.8	39.4	40.2	41.9	43.8	41.7	39.7	39.3	38.5	1.14
V 精神及び行動の障害	235.5	235.9	235.2	233.4	234.6	235.8	236.1	235.9	236.6	234.3	234.1	231.7	1.02
VI 神経系の疾患	117.0	118.7	118.3	117.4	118.0	119.2	119.4	120.3	121.1	120.3	121.1	120.3	1.04
VII 眼及び付属器の疾患	8.1	9.2	9.0	8.9	8.8	9.5	9.4	8.7	8.5	9.1	9.5	8.4	1.17
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3	2.5	2.6	2.6	2.5	2.4	2.4	2.3	1.24
IX 循環器系の疾患	219.1	223.7	221.4	216.5	213.8	211.9	208.7	205.8	204.3	203.7	209.1	210.6	1.10
X 呼吸器系の疾患	87.4	85.5	79.3	77.5	79.2	76.7	78.0	80.2	78.7	77.9	78.4	80.2	1.14
XI 消化器系の疾患	54.5	56.1	55.8	55.1	55.1	56.8	56.8	57.2	57.3	58.0	58.3	55.9	1.07
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	10.2	10.6	10.8	10.6	11.0	11.3	11.7	12.0	11.7	11.2	10.8	10.3	1.17
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	68.7	75.6	74.7	72.7	71.3	75.3	76.9	75.4	75.8	75.4	76.7	74.7	1.12
XVI 腎尿路生殖器系の疾患	47.2	48.4	47.8	46.9	47.6	48.6	49.6	50.7	49.8	48.8	48.7	47.6	1.08
XV 妊娠、分娩及び産じょく	12.3	12.5	12.4	12.4	12.7	12.9	13.2	13.0	12.8	12.7	12.6	12.5	1.07
XVI 周産期に発生した病態	7.0	7.1	6.6	5.9	6.9	7.0	6.9	6.9	7.0	6.8	7.1	6.5	1.20
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.0	5.3	5.4	4.9	4.9	5.1	5.3	5.7	5.2	5.1	5.3	5.3	1.18
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14.8	14.9	14.8	14.4	14.4	14.7	15.0	15.2	15.2	15.0	14.9	14.7	1.06
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	127.9	130.3	125.8	119.5	117.2	113.4	112.9	114.8	112.1	113.4	118.9	122.3	1.16

月別の1日平均患者数：月別の2018・2019・2024年の平均値。

	:最大月/最小月の比が1.5以上における最小月
	:最大月/最小月の比が1.5以上における最大月

表 3-2. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間変動：外来、傷病章分類

傷病章分類	1日平均患者数（千人）												最大月/最小月の比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全傷病	4,186.6	4,518.1	4,529.2	4,439.0	4,255.9	4,436.7	4,469.1	4,096.8	4,206.7	4,468.3	4,467.4	4,445.2	1.11
I 感染症及び寄生虫症	116.7	119.9	118.6	121.1	127.0	141.9	146.3	126.6	126.1	124.1	121.1	124.0	1.25
II 新生物＜腫瘍＞	147.1	161.7	163.0	161.3	155.9	166.2	167.9	158.8	161.9	173.8	168.6	162.7	1.18
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16.4	17.6	17.9	17.5	17.5	18.8	19.5	18.4	18.6	19.1	18.6	18.0	1.18
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	351.4	376.6	371.8	378.9	357.4	371.8	378.8	363.3	363.9	381.0	379.3	374.9	1.08
V 精神及び行動の障害	206.9	224.4	223.9	226.3	216.8	225.8	231.7	221.1	221.3	234.1	230.5	222.7	1.13
VI 神経系の疾患	124.7	134.9	132.7	135.4	129.9	134.8	136.7	130.4	131.9	137.4	135.9	133.3	1.10
VII 眼及び付属器の疾患	246.1	283.4	314.2	299.2	296.1	312.8	302.2	278.2	281.3	279.7	278.2	280.0	1.28
VIII 耳及び乳様突起の疾患	58.5	65.2	68.3	68.8	68.3	74.4	72.3	64.3	67.9	71.5	70.3	67.1	1.27
IX 循環器系の疾患	659.1	705.4	692.7	715.8	674.4	694.8	707.9	675.9	676.3	712.2	707.6	694.3	1.09
X 呼吸器系の疾患	681.4	704.2	684.6	567.2	508.1	489.1	475.5	396.3	457.1	560.3	602.4	666.3	1.78
XI 消化器系の疾患	202.3	218.8	217.8	217.0	207.2	219.2	221.9	206.0	211.7	224.5	224.5	221.0	1.11
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	228.6	251.7	267.5	268.0	265.8	280.6	290.0	258.3	255.7	261.1	264.4	260.7	1.27
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	565.4	629.9	641.1	657.8	633.8	676.7	669.1	597.8	630.1	666.1	653.0	616.2	1.20
XVI 腎尿路生殖器系の疾患	226.2	236.4	236.5	236.6	234.3	239.7	245.4	238.1	239.1	249.2	245.7	239.6	1.10
XV 妊娠、分娩及び産じょく	9.5	9.9	9.8	9.6	9.8	9.9	10.1	9.8	9.6	10.0	9.7	9.5	1.06
XVI 周産期に発生した病態	3.0	3.2	3.2	2.8	2.8	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0	1.14
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	9.4	10.2	11.2	10.4	9.9	10.7	11.1	11.2	10.4	10.6	10.4	10.4	1.20
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	68.0	71.8	69.3	68.1	67.5	72.7	75.4	69.4	69.9	72.3	71.6	72.4	1.12
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	148.9	166.6	167.0	166.0	166.6	178.5	179.2	160.5	164.1	170.9	167.8	159.4	1.20

月別の1日平均患者数：月別の2018・2019・2024年の平均値。

	:最大月/最小月の比が1.5以上における最小月
	:最大月/最小月の比が1.5以上における最大月

表 3-3. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間比の分布：傷病中分類

1日平均患者数の 最大月/最小月の比		傷病数（％）				
		全体	I 感染症及び 寄生虫症	X 呼吸器系の疾 患	XX 損傷、中毒 及びその他の外因 の影響	それ以外の傷病
入院	～1.5未満	132 (97.8)	10 (100.0)	10 (83.3)	5 (83.3)	107 (100.0)
	1.5～3.0未満	3 (2.2)	0 (0.0)	2 (16.7)	1 (16.7)	0 (0.0)
	3.0以上	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	計	135 (100.0)	10 (100.0)	12 (100.0)	6 (100.0)	107 (100.0)
外来	～1.5未満	118 (87.4)	7 (70.0)	3 (25.0)	4 (66.7)	104 (97.2)
	1.5～3.0未満	14 (10.4)	3 (30.0)	7 (58.3)	1 (16.7)	3 (2.8)
	3.0以上	3 (2.2)	0 (0.0)	2 (16.7)	1 (16.7)	0 (0.0)
	計	135 (100.0)	10 (100.0)	12 (100.0)	6 (100.0)	107 (100.0)

対象傷病：傷病中分類（全傷病を含まず）から「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、
「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病および歯科系の傷病を除く135傷病。

1日平均患者数の最大月/最小月の比：1～12月の1日平均患者数における最大月/最小月の比。

月別の1日平均患者数：月別の2018・2019・2024年の平均値。

表 3-4. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の月間変動：傷病中分類で月間比が大きい傷病

傷病名		1日平均患者数（千人）												最大月/最小月の比
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
入院 X	急性鼻咽頭炎	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	1.57
	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1.32	1.25	1.38	1.68	1.68	1.62	1.84	1.98	2.09	1.69	1.43	1.37	1.68
	XIX 熱傷及び腐食	0.82	0.94	0.92	0.81	0.71	0.63	0.57	0.61	0.56	0.54	0.55	0.64	1.75
外来 I	腸管感染症	32.86	30.33	26.36	25.97	28.14	29.23	27.03	23.15	22.94	21.66	23.87	31.09	1.52
	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	35.56	38.44	40.93	42.09	42.99	50.03	54.71	46.34	45.98	45.53	43.24	39.99	1.54
	真菌症	18.10	19.74	20.30	21.94	23.75	28.13	30.60	27.44	26.99	25.67	23.03	21.21	1.69
	VII 結膜炎	21.40	31.00	45.48	33.96	32.42	32.41	30.96	26.38	24.77	24.04	23.46	24.53	2.13
	VIII その他の外耳疾患	6.28	7.24	8.09	8.08	9.06	10.53	8.23	7.11	7.50	8.04	7.86	7.36	1.68
X	呼吸器系の疾患	681.40	704.18	684.64	567.19	508.10	489.14	475.46	396.27	457.08	560.32	602.35	666.32	1.78
	急性鼻咽頭炎	20.74	20.43	17.76	16.90	16.19	15.44	14.75	11.42	14.12	18.43	20.78	21.60	1.89
	その他の急性上気道感染症	126.01	122.48	109.29	103.96	105.11	102.42	102.72	79.67	93.91	119.98	131.71	137.22	1.72
	肺炎	4.40	3.97	3.88	4.28	4.76	4.64	4.72	4.85	5.07	6.11	6.46	5.87	1.66
	急性気管支炎及び急性細気管支炎	65.55	59.27	51.22	53.30	57.00	54.22	52.84	43.46	53.17	69.45	75.24	76.37	1.76
	アレルギー性鼻炎	102.43	174.09	251.30	166.61	114.46	100.81	88.82	76.19	88.11	107.78	114.21	111.15	3.30
	慢性副鼻腔炎	27.23	31.69	34.80	31.22	28.08	27.90	25.76	21.90	24.41	29.02	31.39	30.89	1.59
	急性又は慢性と明示されない気管支炎	11.50	10.31	8.92	9.02	9.34	8.84	8.49	6.91	8.30	10.75	11.58	11.67	1.69
	その他の呼吸器系の疾患	162.24	117.27	48.42	26.25	19.55	16.86	16.83	15.05	17.07	20.24	25.84	85.08	10.78
	XII 皮膚及び皮下組織の感染症	12.62	13.56	13.96	14.46	15.07	17.38	19.89	18.97	18.32	17.38	15.59	14.19	1.58
XIX	熱傷及び腐食	4.15	4.80	4.47	3.87	3.48	3.74	4.10	4.06	3.61	3.28	3.06	3.42	1.57
	中毒	0.60	0.61	0.82	1.90	4.07	6.59	8.34	7.25	5.66	4.09	2.27	1.08	13.87

対象傷病：傷病中分類（全傷病を含まず）から「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「特殊目的用コード」とこれらに属する傷病および歯科系の傷病を除く
135傷病の中で、1日平均患者数の最大月/最小月の比が1.5以上の傷病。

: 最大月/最小月の比が1.5以上における最小月
 : 最大月/最小月の比が1.5以上における最大月

表 4-1. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の異常変動

: 1 日平均患者数の観察値と予測値の比が 2020～2023 年で最も低い月とその比、入院、傷病章分類

傷病章分類	2020年												2021年												2022年												2023年												最も低い月の 1日平均患者 数の観察値と 期待値の比
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
全傷病																																																	0.87
I 感染症及び寄生虫症																																																	0.81
II 新生物＜腫瘍＞																																																	0.85
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫 機構の障害																																																	0.85
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患																																																	0.83
V 精神及び行動の障害																																																	0.92
VI 神経系の疾患																																																	0.90
VII 眼及び付属器の疾患																																																	0.65
VIII 耳及び乳様突起の疾患																																																	0.71
IX 循環器系の疾患																																																	0.90
X 呼吸器系の疾患																																																	0.71
XI 消化器系の疾患																																																	0.84
XII 皮膚及び皮下組織の疾患																																																	0.81
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患																																																	0.84
XVI 腎尿路生殖器系の疾患																																																	0.85
XV 妊娠、分娩及び産じょく																																																	0.92
XVI 周産期に発生した病態																																																	0.89
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常																																																	0.86
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの																																																	0.88
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響																																																	0.86

：2020～2023年の1～12月で、1日平均患者数の観察値と予測値の比が最も低い月

1日平均患者数の観察値：(医科医療費の動向調査による年月の診療実日数の合計)／(年月の日数)。

1日平均患者数の予測値：1日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024年の1～12月を対象データとする重回帰分析に基づく、
2020～2023年の年月（対象データの年月外）の1日平均患者数の推定値の対数を指数変換した値。

表 4-2. 医科医療費の動向調査データに基づく傷病量の異常変動

: 1 日平均患者数の観察値と予測値の比が 2020～2023 年で最も低い月とその比、外来、傷病章分類

傷病章分類	2020年												2021年												2022年												2023年												最も低い月の 1日平均患者 数の観察値と 期待値の比
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
全傷病																																																	0.77
I 感染症及び寄生虫症																																																	0.71
II 新生物＜腫瘍＞																																																	0.79
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害																																																	0.76
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患																																																	0.87
V 精神及び行動の障害																																																	0.87
VI 神経系の疾患																																																	0.86
VII 眼及び付属器の疾患																																																	0.73
VIII 耳及び乳様突起の疾患																																																	0.68
IX 循環器系の疾患																																																	0.87
X 呼吸器系の疾患																																																	0.42
XI 消化器系の疾患																																																	0.78
XII 皮膚及び皮下組織の疾患																																																	0.86
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患																																																	0.79
XVI 腎尿路生殖器系の疾患																																																	0.89
XV 妊娠, 分娩及び産じょく																																																	0.92
XVI 周産期に発生した病態																																																	0.70
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常																																																	0.73
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの																																																	0.72
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響																																																	0.74

: 2020～2023年の1～12月で、1日平均患者数の観察値と予測値の比が最も低い月

1日平均患者数の観察値: (医科医療費の動向調査による年月の診療実日数の合計) / (年月の日数)。

1日平均患者数の予測値: 1日平均患者数の対数を目的変数、年と月を説明変数、2018・2019・2024年の1～12月を対象データとする重回帰分析に基づく、
2020～2023年の年月（対象データの年月外）の1日平均患者数の推定値の対数を指数変換した値。